

# 荒川大麻生公園の管理運営に関する事業計画書 概要版

## (令和8年度～令和12年度)

申請者：埼玉県生態系保護協会・花園グリーンサービス共同体

### (1) 基本的な考え方

- ・ネイチャーポジティブ社会の実現に向けて、自然ふれあい・保全活動の場としての価値を高める。カワラナデシコ等に代表される希少動植物が生息・生育する貴重な自然環境を保全するため、多様な主体との連携・協働により環境づくりを行う。
- ・公園の自然環境を活用したイベント等を実施する。あらゆる人々の利用を想定してニーズを把握し、事業に反映させると共に、イベントや自然情報と関連させた広報活動により、公園の魅力を県民に向けてアピールする。
- ・公園内に管理事務所がないという特性を踏まえ、巡回時の清掃や点検を的確に行う。非常時の対応に備えた研修や訓練を通して、維持管理の質の向上に努める。



カワラナデシコ

### (2) 本公園の目指す姿

河川敷の豊かな自然をみんなで守り育て、地域の宝として利用される公園

### (3) 管理執行体制

総括責任者 (1) <公園運営を主管する>

- └ 現場担当スタッフ (6) <園地管理・利用者応対など現場業務を行う>
- └ 事務担当スタッフ (2) <事務関係業務を担当する>
- └ 経理担当スタッフ (1) <経理関係業務を担当する>
- └ 現地連絡員 (1) <緊急対応・利用者応対など現場業務を行う>

定例ミーティングや研修により、管理水準や接遇技術の向上に努める。2法人のグループによる共同体での管理運営により安定的に事業を行う体制とする。

#### (4) 利用者サービス

- ・子育て世代に向けた自然体験や公園内の自然素材を使った工作イベントの開催
- ・子どもから大人まで幅広い年代を対象とした自然観察イベントの開催
- ・自然環境保全や公園施設の維持管理、希少植物のモニタリングなどを参加者と共にを行う環境管理イベントの開催。希望者には「ボランティア証明書」の発行
- ・団体利用の受け入れ、SDGs やネイチャーポジティブの取り組みに関心のある企業の活動場所としての提案
- ・移動販売車の誘致によるサービスの提供

#### (5) 広報等に関する取り組み

- ・イベントや自然情報を掲載した「お散歩ガイド」を作成し、公園内で配布するほか、QRコードからの読み取りによる情報へのアクセスが可能なように、園内の看板等に表示
- ・ホームページや SNS、行政発行物、ミニコミ誌、一般紙などを通じ幅広い世代へ公園の情報を発信。「生きものだより」として SNS で公園の自然情報を発信
- ・県の SDGs 推進アプリ 「S<sup>3</sup>（エスキューブ）」を活用したイベント情報発信

#### (6) 施設管理、園内自然地の維持管理

- ・園内の巡回、清掃、安全管理等の日常点検（管理事務所なし。週 2 回）
- ・大雨、大雪、地震等の被害確認のための臨時点検。荒川増水時には洪水時施設撤去マニュアルに基づき基づき対応。撤去が発生しなかった場合には訓練を実施（年 1 回）
- ・ボランティアとの協力による特定外来生物アライグマの捕獲